

展覧会

次回特別展

堀文子 一所不住・旅展 4月18日(土)~6月7日(日)

今なお新しい創作に打ち込み続ける日本画家・堀文子(1918(大正7)年東京生まれ)の展覧会を開催します。発見と驚きが制作の原動力という堀文子は、ひとつの場所、ひとつのスタイルにとどまらず好奇心と探求心で独自の世界を築いてきました。本展では「一所不住」という堀自身の言葉をキーワードに、初期から最新作まで約130点を展示、堀文子の芸術そして人間像に迫ります。



堀文子《月と猫》1950年頃 紙本彩色

県美プレミアム

阪神・淡路大震災 20 年展

阪神・淡路大震災から 20 年 開催中~3月8日(日)



黒田清輝《桜島爆発図(噴煙)》1914年 鹿児島市立美術館蔵

阪神・淡路大震災から20年目にあたる今年、震災をテーマにした展覧会を開催しています。展覧会は3部構成。1部「自然、その脅威と美」、2部「今、振りかえる-1.17から」、3部「10年、20年、そしてそれから-米田知子」。1月17日に始まった1部の後期展示では他館からお借りした黒田清輝、横山操、川端龍子ほかの絵画を展示しています。

関連イベント

■ 阪神・淡路大震災 20 年・語り継ぐこと/リレートーク vol.4
救うこと、残すこと—「作品」と「思い」

2月21日(土) 16:00~17:30

レクチャールームおよび展示室 参加無料・要観覧券
阪神・淡路大震災20年の節目に、被災地エリアの館での震災関連事業として、各館学芸員が会場をリレートーク形式でつなぎ震災を語り継ぎます。

お話：大槻晃実(芦屋市立美術博物館学芸員)、江上ゆか(当館学芸員)

■ 修復担当学芸員によるギャラリートーク

3月7日(土) 16:00~(約40分)

展示室3 参加無料・要観覧券

■ ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日 13:00~(約45分)

エントランスに集合 参加無料・内容により要観覧券

IN MY ROOM / ON THE ROAD — 私の部屋、あるいは、路上にて — 3月21日(土祝)~7月5日(日)

兵庫県立美術館の9,000点を超える収蔵品の中から、今期の常設展示室では、「IN MY ROOM(私の部屋で)」と「ON THE ROAD(路上にて)」の2つのキーワードのもとに選定した作品を展示します。「室内/路上」における私たちの立ち位置を端的に言い表す「当事者/傍観者」の両立場を行き来しつつ、作品が生まれる時間には思いをはせていただければ幸いです。



飯田操朗《室内》1933年

関連イベント

■ 学芸員によるギャラリートーク

【1階展示室】3月29日(日)

【2階展示室】4月26日(日)

16:00~(約40分) 参加無料 要観覧券
エントランスに集合

■ ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日 13:00~(約45分)

エントランスに集合 参加無料・内容により要観覧券

ガウディ×井上雄彦 — シンクロする創造の源泉 —

3月21日(土祝)~5月24日(日)

ガウディ自筆のスケッチや図面、大型の建築模型やガウディがデザインした家具を含む貴重な作品約100点がスペインの専門機関より出品。井上雄彦の作品約40点は、すべて本展のために描き下ろされました。ガウディとの魂の対話、そしてインスピレーションの源泉をたどる旅から生まれた作品たちは何を語りかけてくるのでしょうか。



アントニ・ガウディ(1878年頃)
Foto: Audouard & C., Barcelona
© Institut Municipal de Museus de Reus

関連イベント

■ 記念講演会「ガウディの眼差し、ガウディへの眼差し」
講師：加嶋章博氏(摂南大学理工学部建築学科准教授)

3月21日(土・祝) 14:00~(13:30開場)

レクチャールームにて 入場料：無料 定員：100名
(ガウディ×井上雄彦展観覧券又は半券が必要)

※当日12:00から1階ホワイエにて整理券を配布

主催：東映、毎日新聞社、朝日放送

問合せ先：0570-063-053

イベント

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

ミュージアムコンサート

■ 美術館の調べ

2月6日(金)

愛の春

~恋する者のうた~

<演奏曲目> ティリン
テリ「おお春よ」/ラヴェル「ドゥルシネア姫に心を寄せるドン・キホーテ」/滝廉太郎「花」ほか



新見準平 植田祐佳 出光世利子

<出演者のひと言> 冬の厳しい寒さを越えて春がやってきた時の喜びはとて大きく、恋の訪れにも似ています。春を待ち焦がれる想いを歌に乗せてお届けします。◎新見準平(バリトン。東京藝術大卒業、同大学院修了。第30回ソレイク音楽コンクール第1位、音楽現代新人賞。第18回松方ホール音楽奨励賞。リユーバ・ヴェリチュ国際声楽コンクール(オーストリア)特別賞) ◎植田祐佳(ソプラノ。大阪音楽大卒業、同大学院歌曲研究室修了。神戸市混声合唱団団員) ◎出光世利子(ピアノ。大阪音楽大卒業。第5回フランス音楽コンクール奨励賞)
エントランスホールにて 14:00~ 無料

■ 美術館の調べ

2月7日(土)

詩と音楽の出会い

~バーバー、皆様からの

リクエスト曲の花束~

<演奏曲目> バーバー「聖母マリアの子守唄」「人里はなれたホテル」ほか/「黒い瞳」ほかリクエスト曲より
<出演者のひと言> バーバーの魅力の表現に挑戦! リクエスト曲は22曲ご用意しました。当日会場でご指定してください。◎山口茂己(バリトン。京都市立芸術大卒業。演奏会「詩と音楽の出会い」を24回開催。各地で童謡と懐メロを歌う会主宰) ◎東恵子(ピアノ。京都市立芸術大卒業。音楽スタジオ「アール・ルネサンス明石」代表)
エントランスホールにて 14:00~ 無料



山口茂己 東恵子

■ 美術館の調べ

2月14日(土)

北野加織 ソプラノリサイタル

~バレンタインに贈る愛の歌~

<演奏曲目> リスト『愛の夢』第3番“おお、愛せるかぎり愛せよ!”/デラクヴァ「ヴィラネル(牧歌)」/オッフエンバック「オペラ『ホフマン物語』より“森の小鳥は憧れを歌う”ほか
<出演者のひと言> 大切な人と聴いてほしい曲を詰め合わせました。素敵なバレンタインを♡◎北野加織(ソプラノ。大阪芸術大卒業。関西二期会準会員) ◎羽山絵里奈(ピアノ。大阪芸術大大学院博士前期課程、ザルツブルク・モーツァルテウム国立大卒業)
アトリエにて 14:00~ 無料



北野加織 羽山絵里奈

■ 美術館の調べ

2月21日(土)

細谷公三香&堀裕貴

デュオリサイタル

~チェロとピアノの調べ~

<演奏曲目> C.D.ビュッシー「チェロ・ソナタ」/D.ショスタコヴィチ「チェロ・ソナタ 二短調 Op.40」ほか
<出演者のひと言> チェロとピアノによる多国籍な音楽をお楽しみください。◎細谷公三香(チェロ。イタリヤ・ヴェローナ音楽院首席卒業。ザルツブルク・モーツァルテウム芸大、ミュンヘンで研鑽。2011年まで兵庫芸術文化センター管弦楽団在籍)◎堀裕貴(ピアノ。ザルツブルク・モーツァルテウム芸大卒業、ミュンヘン音大首席卒業)
アトリエにて 14:00~ 無料



細谷公三香 堀裕貴

四季シリーズコンサート<冬>

2月22日(日)

胡琴四重奏Xeno Quartet

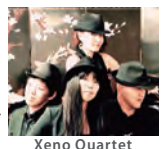
春の嵐~ featuring with 伍芳~

<演奏曲目> 二胡随想曲第三号

「炫動」/21st Century Schizoid Man/

冬牡丹/「潑水節~ Dance of Splasher」

<出演者のひと言> 二胡界に嵐を呼ぶ黒衣の胡琴四重奏Xeno Quartet(ゼノ・カルテット)。ゲストに古箏の伍芳(ウー・ファン)を迎え、中国伝統楽器の新しい世界を現出します。◎Xeno Quartet=鳴尾牧子(1st二胡)、川野真広(2nd二胡)、森敦志(中胡)、重松涼子(革胡)。2012年結成。第14回中国音楽コンクール特賞(最高位)及び中華人民共和國駐大阪総領事賞。2014年第15回大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門第1位。◎伍芳(古箏。中国・上海生まれ。上海音楽学校を



Xeno Quartet

伍芳